

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	321安全でゆとりある道路の整備		
施策のねらい(めざす姿)	道路利用者が、安全でゆとりある道路を円滑に利用することができます。		
基本目標	3「躍動感と魅力あふれる交流拠点都市」をめざして	施策担当マネージャー	都市建設部次長
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	マネージャー氏名	萩原 勝

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市道、都市計画道路の整備については、その現状を把握し、優先的、効率的な整備を行う必要がある。なお、交付金の配分状況を考慮し、整備効果など、より効果的な執行を行う。	③改革・改善内容	交付金の要件を満たさない路線(舗装構成)もあるため、事業債活用により優先的、効率的な整備を行う。
②①に基づく取り組み結果	・交付金を活用し、市道、都市計画道路の整備に必要な用地取得を実施した。 ・市道において、交付金を活用し効率的に整備を行った。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	・主要市道、交差点改良、一般市道、私道、都市計画道路、歩道、街路樹	意図(対象をどうするのか)	利用者の安全性・利便性・快適性の向上、交通渋滞緩和のため、効果的に整備する。
②施策の概要	・利用者の安全性、利便性を高め、生活環境・渋滞対策の向上を図るため、主要道路、一般市道等を整備する。 ・市民が安心して移動できるよう、バリアフリー型の歩道等を整備する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	・安全確保や渋滞対策など道路に対する市民の要望は多い。 ・誰もが安全で快適に利用できる道路環境が求められている。 ・道路舗装の老朽化が進み、振動等による生活環境の悪化が見込まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度～2年度の施策の成果	・主要市道及び一般市道の舗装改良、排水整備及び用地取得を実施した。 ・都市計画道路事業において、用地取得(一部)を実施した。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値(2年度)
	i	「道路の状況」不満足度(市民意識調査)	%	65.7	-	-	50.0
	ii	都市計画道路整備率	%	33.0	33.0	33.0	43.0
	iii						
③基本事業成果指標	i	主要市道整備延長	m	7,999	8,242	8,256	7,500
	ii	都市計画道路整備延長	m	12,169	12,169	12,169	14,469
	iii	一般市道整備延長	m	3,371	3,560	3,659	3,210
	iv	歩道整備延長	m	43,405	43,405	43,405	47,281
	v	街路樹整備延長	m	0	0	0	1,660
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	令和元年度決算	令和2年度決算	市民一人あたり事業費(2年度決算)		令和3年度予算		
事業費(千円)	434,965	521,470	(単位:円) 4,766 円		907,784		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の整備と維持管理のための財源確保や地権者のご理解が必要である。		
②総合評価	3一部未達成	③総合評価の理由	主要市道整備については、交付金を活用し整備を進めたが、都市計画道路及び歩道整備については、用地を取得し事業を推進したが、整備には至らなかった。

V 今後の方向性

①施策の方向性	↑ 拡充
②上記方向性の説明	都市計画道路のネットワークが未完成であるため、生活道路への車両の流入が多いことから、安全や住環境を改善させるためにも、北千葉道路や他の都市計画道路等の整備が必要である。
③特に重点化する事務事業	新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備事業、軽井沢周回道路